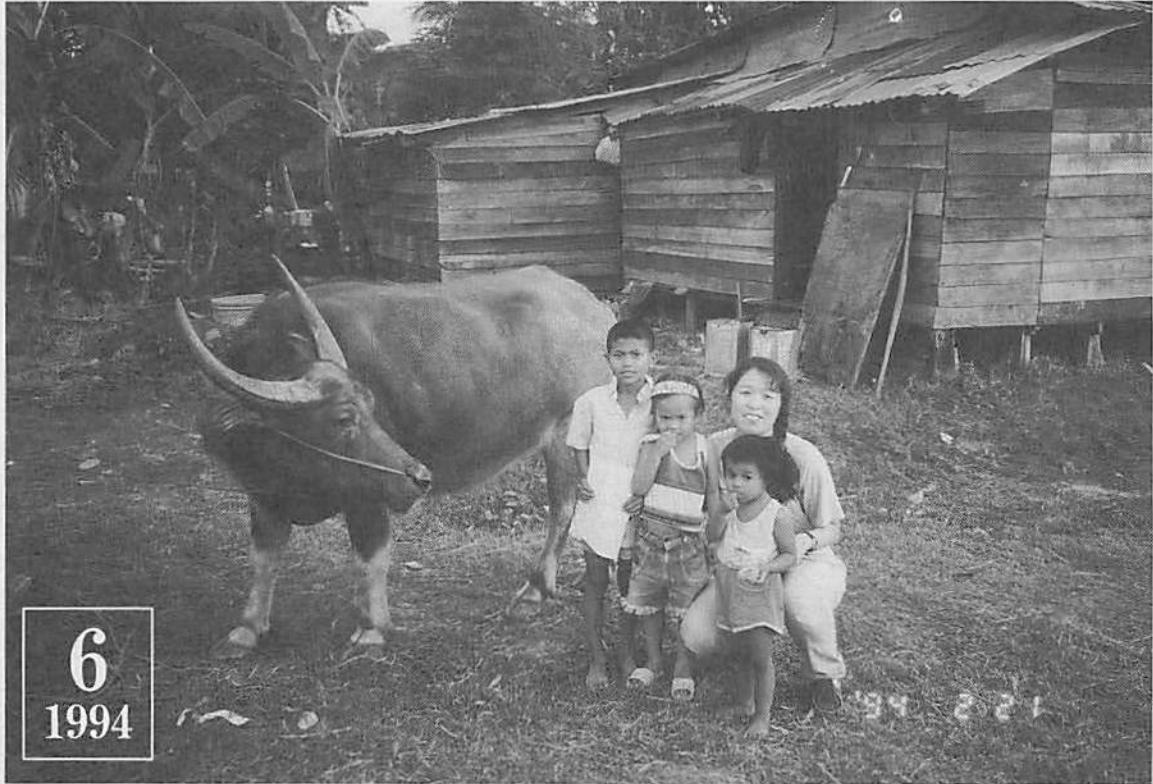


# 京都教区時報

第199号

田中司教認可  
毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨  
 編集 京都教区時報編集室 住所 京都市中京区河原町三条上る河原町カトリック会館5F



6  
1994

私たち みな友達なの  
私たち みな家族なの

ある時 私達は友達になる  
小さな心と心の交わりにより  
ある時 私達は家族となる  
小さな愛の交流により

遠くに見知らぬ人が住んでいる  
誰かがそこに出かけて行った  
遠くの人と人の間は近くなり  
近寄つて握手したら友達となつた

日本とタイの子供たちと  
バングラデイシユと日本の人々と  
アフリカと日本の人々と……

ネバールと日本の子供達と  
アフリカと日本の人々と……

友の輪は広がり 人をこえ  
生きとし生けるものにまで及ぶ

人と人 人と獸の間にも  
何んとやさしいまなざしが……

母牛の やさしき微笑よ<sup>えみ</sup>  
己が子と見間違えているほどに……

私たち みな家族だ  
人も 動物も そして自然も

# ある友との出会い

月 一回のローテーションを組んで、脳性マヒの女性を大津市民病院まで連れて行く。車中での会話は、いつもはずむ内容だ。今日もあるボランティア活動を通じて結ばれたカップルのことと花が咲いた。それまでの重く苦しい行程について、めまぐるしく行き交う頭脳の働きから飛び散る言葉のやりとりの中で、彼女の口からは、温かいことばが次々とほとばしり出るのである。

彼女の生き方に教えられことが多い。まず話題が豊富で、片寄らないものの見方が出来る人である。決してものごとから逃避しないし、的確な答えが返ってくる。ユーモアもあり、何よりも人の思いやる気持ちが、じんじんこちらに伝わってくるのである。

生まれ育った豊かな暮らしに比べ、体の不自由さは、何にも例え難い苦痛と悔しさを覚えたであろうこの人に、家族から離れ一人で一軒家に住み、自立運動を提唱し仲間に呼びかけ、日夜講演に飛び回る情熱は、一体何処から湧き出

てくるのだろう。以前は機械編みの教師をしていたが今はもう出来なくなっている。体が次第に硬直度と疲労を増していくからだ。

**彼** 女の回りには、六十名のボランティアがいる。それは、自らの働きで得たものであり、あらゆるところへ出かけて働きかけた結果で、これからも体の続く限り行動するであろう。昨年も龍谷大学の聴講生となつて、福祉分野での授業を終えたばかりである。滋賀大学の教育学部の学生さんなどは毎晩食事作りにやつてくる。先輩から後輩へと引き継がれた行為で毎年、新しい人が来るのも楽しみである。いろんな相談を受けたり出入りの多い彼女の家は、まるで憩いの家でもある。わずかなお金で食事の工面をするのも単純なことではない。講演で得た礼金が唯一の活動資金源となつていて。

**神** 様は、私に何を求めておられるのだろうか。歩く足をもつているのに、目が見えるのに、どうしてもつと有意義に使わないのだと暗示されているのだろうか。毎日あくせく、みみっく、自分さえよければよいという風潮の中で、あちらこちらとぶつかりながら、不器用にしか生きていけない信仰心の厚い人でなければ、少しずつではあるが、教会から離れていくということである。どんなに素晴らしい説教でも、聖書朗読を聞いても、与える人の心にぬくも

体を固定し、それを六名の男子高校生にかついてもらい、頂上を目指して登っていくのである。惜しくも八合目までで終わったあのときのみんなの号泣は、引き返すのもいさぎよしとする気持ちと無念さは、何にも例えようがない程、参り胸中であつただろう。その後、彼女はヘルニアで七カ月入院したが上向きに寝られず、前に二つ折れの状態で何カ月もすごしたのである。そのときのエピソードはいろいろあるが、彼女が、人が病気になつて寝る気持ちは、自分がそなつてはじめてその人の気持ちがわかった、と言つたとき、深い感慨を覚え、私の心にいつまでも余韻となつて残つている。

**社** 会にうごめく人々の中での生きさまは、私にとつてもその中で、一つの証しを子供たちに残さなければならぬ。あつという間に人生の終焉を迎えてしまうのができたであろうか。絶えず模索し、手段は違つても、同じ目的をもつ仲間と共に、励まし合い、助け合い、真剣に本音で納得行くまで語り合い、互いに向上至高する為に努力しただろうか。人間性やモラルは大きな渦中で、ときとして見失うことがある。その中で自己を見つめ、再発見したときは、まるで放蕩息子のようである。

**た** だ、教会から拒否されるといふことは、余程のお人良しか、自分を見つめなおり、衿を正すのでも、ときには必要なかもしけない

い。私は洗礼を受けて三十年をすぎた今、結婚して十五年間御聖体をいただいていない、伴侶が離婚経験者であるからだ。

りがあれば、人の心を打つこともできるし、建前だけの信者でなければ人は感化され、同じ信条をもつ者のきずなは、より強くなるだろう。

神と人との結びつきは、簡単なことで崩れることはないが、小さな社会での他を受け入れる関係においては、しばしば容易なことで

はない。社会でのモラルや秩序は、お互い譲り合い、自制せねば保たれないが、一つの規約によって、心まで同じ制約にまとめられることは、愛の行為とはほど遠いものとなってしまう。

**自 分を守るばかりで、個性のないのは魅力がないし、与えら**

れたタレントを生かさないのなら、何の為に生きているのだろう。私が、日々あえて捜し求めづけるのは、神のみが知ることなかもしれないが、規制の枠からはみ出た者の苦しみは、本人が時いた種だから、仕方がないのだろうか。私は神に近づきたいのに、教会はこれを拒絶する。

しかし、私はこれからも神を求めてつづける為に、人との出会いや触れ合いを通して、この友人を通じて得た純粹な心と行いが、今後の足跡になるように、息を吹き返そうと思っている。又、日々存分に過ごす為に、神の愛を信じ、自分の然るべき行動を、今後も続けて行こうと思っている。

## 一九九三年 京都ウォーカソン最終報告

大変遅くなってしまい申しわけ

一、四〇〇,〇〇〇円

ありませんが、昨年の京都南部で行われたウォーカソンの集計と送り先を最終的に報告させていただきます。なお、四月号で報告させていただきました集計額は誤りでした。左記の数字に訂正させていただきます。関係各位にご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

※残額は諸経費を差し引いて繰り越します。

京都南部募金総額  
三、〇一七、五五六円  
滋賀ブロック(琵琶湖ウォーカソン)  
募金総額  
三四九、八四八円  
総 計 三、三六七、四〇四円

\*  
●ノートルダム教育修道女会を通してネバールの教育支援のため

今年もウォーカソンにご協力をよろしくお願い申し上げます。

△文責／柳本 昭△

## 中 高 生 黙 想 会 より

〈聖書〉

木村詩織  
(小山教会)

去る三月十九日、二十日に、召命促進委員会主催で、中高生を対象に祈りの体験と召命を目的に、宇治カルメル会で默想会が行われました。参加者の感想を載せます。

「安心して行きなさい」というお言葉は私にとって、すごく良いはげましになつたよう思います。この先、たくさんの境遇に立ち向かうことになるでしょうが、神様をあつく信じ、祈って行くことに

最後にイエス様がおっしゃった「安心して行きなさい」というお言葉は私にとって、すごく良いはげましになつたよう思います。この先、たくさんの中遇に立ち向かうことになるでしょうが、神様をあつく信じ、祈って行くことに

最後にイエス様がおっしゃった「安心して行きなさい」というお言葉は私にとって、すごく良いはげましになつたよう思います。この先、たくさんの中遇に立ち向かうことになるでしょうが、神様をあつく信じ、祈って行くことに

最後にイエス様がおっしゃった「安心して行きなさい」というお言葉は私にとって、すごく良いはげましになつたよう思います。この先、たくさんの中遇に立ち向かうことになるでしょうが、神様をあつく信じ、祈って行くことに

最後にイエス様がおっしゃった「安心して行きなさい」というお言葉は私にとって、すごく良いはげましになつたよう思います。この先、たくさんの中遇に立ち向かうことになるでしょうが、神様をあつく信じ、祈って行くことに

**JOSEPH-NET**  
カトリックコミュニケーションネットワーク  
ネット名 : ヨセフネット  
アクセスNo. : 06-900-2271  
ゲストID : JOSEPH-G  
通信速度 : 1200-14400bps  
通信条件 : N,8,1,X,N  
接続環境 : 単回線 24時間

問合せ 06-908-5841  
(酒井神父)



## 北白川教会献堂式

聖ヴィアトール



### 新しい教会をめざしての 新たな第一歩を

左京区北白川のカトリック聖ヴィアトール教会は、去る3月27日の「枝の主日」の日、京都教区田中健一司教様をお迎えして、厳粛のうちにも大いなる喜びをもって献堂式を行なうことができました。

思えば実際にたくさんの方々の、そしてまた実際にたくさんの親身のご協力・お骨折りをいただいて、おかげをもちまして、名実ともにこの教会が、祈りの家、イエス様の体、聖靈の神殿、神さまと私たちが共に生きる場となることとなりました。

私たちに、このような大きな役

割と喜びをお与えくださった恵みに感謝いたしますとともに、物心両面にわたって惜しみない励ましをお寄せくださいました、当教区の皆様をはじめ多くの方々のはかり知れぬばかりのご好意に、関係者一同ほんとうに心からの感謝と御礼を申しあげます。

かつての木造の旧聖堂も、建築から40年余を経て、ありがたいことに手狭になり、反面また、鉄骨

による補強や補修も限界を越えて、床が抜け落ちれば大変なことになりかねないという状態にもなって、聖堂の新築プランというものが、なにぶんにも膨大な額のこの世的なものとの兼ね合いもあって、この数年は、浮かんでは消え沈んでは浮かびを繰りかえしてきたのですが、どういうわけか、資金的なメドとは全く無関係に、90年代に入つて一気に新築への気勢・気運が盛り上がりました。

それまでの、お金をどうするのか、心や思いを一つにまとめられるか、私たち自身の信仰の問題、また何のために等々、心配と悩みをこれまでシッカリとかつ真摯に積み上げてきたことに対し、「か



けるべき時間はかけた。もはや心わざわせることはなにもない」との神さまからのメッセージが、それぞれの人の心の内におりたからではないかと思われます。

とはいって、昨年の4月4日に土地の祝別と起工式、それから1年もたたずして、こうして夢のよな教会がまるで地からはえ出てきたかのごとく建ちあがりはいたしましたが、その間、1日たりとも心穏やかな時は無かったかといつていいかもしません。

誰ひとり「自分のためにする」わけではない無心にして純なる真剣さが、不安や自信やらぬい交ぜになつてさまざまの人間ドラマが演じられることとなりました。もちろんこれらは今、「雨降つて地かたまる」の喩えおりに、かえつてこれから将来に向けての新たな第一步を踏み出す上で、ほんとうに心をひとつに大きな力を生み出していくための、なかなかに得が

たい体験になつたという意味で、今となれば深い感謝を込めて語るようになりました。

これまでの当教会の歴史、そしてそれを支えてきた先人たちの血と汗と苦労をけつして忘れるのないように、その原点を見失つて道を踏み誤つたりすることのないよう、その本の本を忘れて、そのままの眩しいばかりの教会ができる、しかし、その本の本を忘れ、その内に最高最深のソフトである神が働くことがなければ、それはただのハード、鉄とコンクリート、木とレンガの塊に過ぎない事になるのです。

奇しくも、献堂式のその日、「聖書と典礼」の表紙を飾つた言葉は、「門よかまちを上げよ、永遠の戸よ、上がり。栄光の王が入る」でした。

天の国をめざし歩みを共にする皆様がたへの心からなる感謝の思いを込めて。

# 侍者合宿から

去る三月二十八日から三十日まで、小学四年(旧学年)を対象にした侍者合宿が、ヴィアトール宗研館で行われ、最終日には河原町教会で聖香油ミサの侍者の奉仕をしました。合宿に参加した子供たちの感想を掲載します。

## 侍者会に行つて

溝野太一(高槻教会)

ぼくは、二はく三日の侍者会に行つて思つたことは、最初の練習は、神父様の話や、侍者についての話をきいたりしました。

とても、侍者のことについて、くわしく話してくれました。それから、夜のじゅんびをしたりして、ねました。次の日は、まず、朝に、また侍者の練習をしました。こんどは、ローソクと、十じかをもつれんしゅうをしました。かんたん

そうだったけど、あんがいむずかしかったです。それから、次は、山登りをしました。すごくつかれました。

次は、カルメル会のしゅうどういんに行つて、またもとの場所にもり、食事をして、また侍者の練習をしました。最後は、こうろうを持つたり、ろうそくや十じかを持つふく習をしたりしました。

それからねました。次の日は、なんと、河原町教会にいってミサを受けました。京都大司教さまがきていました。その



## 春の侍者合宿のこと

江畑 晃(奈良教会)

ぼくは、侍者合宿を行つて前はどうミサがいやじやなくなりました。これも神様のおめぐみだと思います。

ぼくは、侍者合宿が好きです。ただ一ついやなのは、バスがぎゅうぎゅうづめだった事でした。去年の友達もいました。新しい友達もできました。リーダーやシスターもやさしかつたです。

カルメル会では、おいしいおかしをもらいました。家に帰つて、すこしもして次のあさもれんしゅうです。ごはんをたべて、昼ごはんをすこしねました。じしゃのれんしゅうにねました。じしゃのれんしゅうもつていてピクニックへいきました。いっぱいのぼつて上へいくときむかつたです。

三日目、いよいよほんばんです。きんちょうしてむねがドキドキしました。ほんばんになつたらもう

さいしょの日は、ふろにはいらすくでドキドキしました。でんしゃにのつてバスにのつて京とまでいました。ついてからかばんをおいてオセロをしてあそびました。あきてぼくが、さいしょテニスのボールをみつけてあそんでいました。

さいしょの日は、ふろにはいらすくでドキドキしました。でんしゃにのつてバスにのつて京とまでいました。ついてからかばんをおいてオセロをしてあそびました。あきてぼくが、さいしょテニスのボールをみつけてあそんでいました。

はじめてのじしゃがつしゅく  
瀬角隼人(大津教会)

はじめのじしゃがつしゅく  
瀬角隼人(大津教会)



## 一万匹の蟻運動第一回総会報告

去る三月二十日（日）午後二時

三十分より河原町教会地下ホール

にて、現在この運動に参加されている各小教区の代表者の方々及び個人会員多数のご出席を得て、第二回総会が開かれました。

昨年度の事業報告・実績報告・

会計報告があり、それぞれご承認を得ました。引き続き今回は規約の一部変更に関する提案があり、長時間に渡り熱気あふれる討論が行われましたが、採決の結果、提案通りのご承認を頂きました。従つて今後私達の運動の対象地域は京都府南部から京都司教区全域にと拡大されました。即ち当初の考えに戻った事になります。

今年度からは新しい展開にむかっての一層の努力が必要となりますので、皆様の更なるご理解とご協力をお願い致します。以上ご報告致します。尚、内容は左記の通りです。

記

◎理事による小教区訪問説明会

◎定例理事会の開催（第三水曜日）

一、事業報告  
力とお祈りを切望します。

（文・橋本泰爾）

夜)

一九九三年十二月三十一日現在

◎会員数 六八〇名

◎累計額 五、一〇六、一三八円

◎会計報告 支出なし

前年度までは各理事のボランティアにより事業経費を賄つて来ましたが、今後の活動に支障を来すので、今年度より記帳支出する事になりました。

### 一、規約の一部変更

第一章総則（目的）第一条の文面

より

「原則として京都府南部の教会・」  
とあるのを  
「原則として京都司教区の教会・」  
に変更となりました。

世界平和と戦没者慰靈祈願 (日本カトリック教会が当番)

1994年7月5日（火）大阪中之島フェスティバルホール

## 国際永久平和祈念祭典'94 IN 大阪

PEACE PRAYER MEETING IN MEMORY OF THE WAR-VICTIMS  
ALL OVER THE WORLD

(1)記念講演：曾野綾子

(2)みことばの祭儀

(3)聖コルベに捧げるレクイエムコンサート

作曲、指揮 C. ベンデレッキ 大阪フィル・豊中混声合唱団

5:00P.M. 開場 5:30P.M. 開演 入場無料 要実行委発行の整理券

●求む！ 共同司式司祭・京阪神地区より 問合せ 06-961-8959/075-211-6766

田中司教自身がお伴する '94.11.13~11.25 (13日間)

ローマ・イスラエル

## '94秋の聖地巡礼のおさそい

旅行費用442,000円 募集人員40名 技群のガイドで素晴らしい倍増

標記巡礼を心よりお勧めいたします。きっと満足して頂けると思います。

詳しい「募集案内」はカトリック河原町教会受付、

または河谷龍彦事務所(277柏市松葉町1-12-4 TEL0471-32-8808)へ。

青年センター

## 五周年パーティー

四月号で御案内いたしましたが、去る四月十六、十七日に、園部教会にて、青年センター五周年をお祝いするパーティーを行いました。

この企画は、京都教区各地の教会の青年が集り、五周年を祝つてみんなで語り明かそう（飲み明かそう？）というものでした。参加者は、柳本神父様、森田神父様はじめ、二十五人ほどになりました。

ある程度人数が集ったところで奈良教会の吉田さんの乾杯でパーティが始まりました。お互い話をしたり、卓球やトランプなんかもしていたりと、楽しい時間を過ごしました。

さて、このなかで、森田神父様

の周りに集って話したこと

がとても心に残っています。

それは、教会で、ふと思う疑問、例えば、何故神父様

の御聖体が大きいのか、御聖体はかんではいけないか

というようなものです。知っていたつもりでも、誤った知識をもっていることもあるので、機会があれば、一



青年センターは、皆様に支えられ、五年目を迎えましたが、まだまだ通過点です。これからも活動を盛り上げていきますので、どうか温かく応援してください。  
これからもどうぞよろしく  
お願ひいたします。(小泉記)

京都教区アシア交流委員会のメンバーは、この3月にバングラディッシュのチッタゴン教区を訪問しました。教区の人々とのより深い交流を結ぶことが目的です。ダッカやチッタゴンなどの都市は、とても活気に満ちたところで晴天だったので、教会の広い庭に机をだし、教会の方々が持ち寄られた料理をいただきました。たいへん楽しく過ごせました。ご用意してくださった方々に感謝いたします。

私たち京都教区アシア交流委員会のメンバーは、この3月にバングラディッシュのチッタゴン教区を訪問しました。教区の人々とのより深い交流を結ぶことが目的です。ダッカやチッタゴンなどの都市は、とても活気に満ちたところで晴天だったので、教会の広い庭に机をだし、教会の方々が持ち寄られた料理をいただきました。たいへん楽しく過ごせました。ご用意してくださった方々に感謝いたします。

京都教区アシア交流委員会のメンバーは、この3月にバングラディッシュのチッタゴン教区を訪問しました。教区の人々とのより深い交流を結ぶことが目的です。ダッカやチッタゴンなどの都市は、とても活気に満ちたところで晴天だったので、教会の広い庭に机をだし、教会の方々が持ち寄られた料理をいただきました。たいへん楽しく過ごせました。ご用意してくださった方々に感謝いたします。

## 第4回バングラディッシュ訪問記

中野克彦  
大阪府豊中市

京都教区アシア交流委員会のメンバーは、この3月にバングラディッシュのチッタゴン教区を訪問しました。教区の人々とのより深い交流を結ぶことが目的です。ダッカやチッタゴンなどの都市は、とても活気に満ちたところで晴天だったので、教会の広い庭に机をだし、教会の方々が持ち寄られた料理をいただきました。たいへん楽しく過ごせました。ご用意してくださった方々に感謝いたします。

京都教区アシア交流委員会のメンバーは、この3月にバングラディッシュのチッタゴン教区を訪問しました。教区の人々とのより深い交流を結ぶことが目的です。ダッカやチッタゴンなどの都市は、とても活気に満ちたところで晴天だったので、教会の広い庭に机をだし、教会の方々が持ち寄られた料理をいただきました。たいへん楽しく過ごせました。ご用意してくださった方々に感謝いたします。

京都教区アシア交流委員会のメンバーは、この3月にバングラディッシュのチッタゴン教区を訪問しました。教区の人々とのより深い交流を結ぶことが目的です。ダッカやチッタゴンなどの都市は、とても活気に満ちたところで晴天だったので、教会の広い庭に机をだし、教会の方々が持ち寄られた料理をいただきました。たいへん楽しく過ごせました。ご用意してくださった方々に感謝いたします。

## 教区スケジュール

6月

1日(水)雑学講座(西院会館)



神の園創立記念日

4日(土)国本神父の音楽講座



▽今日福音を生きるために

(三重県研宗館)

5日(日)安土セミナリオ記念ミサ

(安土セミナリオ跡)

▽久居教会二十五周年

▽カナの会相談室

(河原町会館) 13時半

▽創立記念日みこころバーティー

(桃山教会)

9日(木)教区内管区長会議

10日(金)信睦二金会(西陣教会)

11~12日召命促進青年練成会

(奈良)

12日(日)家族の集い(西陣教会)

▽堅信式(山科教会)

14日(火)KCCセミナー

(関西セミナーハウス)

16日(木)司教顧問会(河原町会館)

▽京都南部及び教区司祭例会(河原町会館)

18~19日宣教司牧評議会(河原町会)

(高野教会) 9時

▽部落問題委員会現地学習

20~25日司教総会(東京)

25~26日青年センター運営委員会

26日(日)子羊会默想会(高野教会)

30日(木)糠みその会(九条教会)

費用・25000円  
問合せ・研修センターまで  
052-831-5037

## お知らせ

### 教区中学生広島体験学習

費用・25000円  
問合せ・研修センターまで  
052-831-5037

◎現地学習を下見をかねて実施しています。6月も御参加ください。

◎第一回目の夜は「新谷のり子唄の夕べ」を企画しました。

◎学生さんが参加しやすいように簡易宿舎も用意しています。

◎教区の皆さんのが大勢参加できるよう部部分参加も可能です。

対象・中学生(未信者も可能)  
主催・京都教区青少年委員会  
宿泊先・広島市内の教会  
引率者・北村善朗師費用・13000円  
申込締切・7月3日

申込・各教会主任司祭へ

問合せ・北村まで

075-381-3268

日時・6月4日(土)14時

場所・三重県カトリック研宗館

参加費・500円(中高生は無料)

問合せ・宮西まで

0592-240549

共催・正義と平和三重県連絡会

津教会正義と平和委員会

第97回基礎コース1

京都の町を為政者の歴史からで

はなく、民衆の目でたしかめて

歩んでみませんか。

集合場所・出町柳駅前

日時・6月19日(日)13時出発

問合せ・部落問題委員会

075-223-2291

◎実行委員会では、大会成功のために、祈りのカードを準備しました。各小教区で活用していただきたいとお願いします。

### 福音を生きるために

共催・正義と平和三重県連絡会

津教会正義と平和委員会

累計5,701,475円

加入者 693名

(4月18日現在)

「一万匹の蠍運動」基金報告

参加費・500円(中高生は無料)

問合せ・宮西まで

0592-240549

「正義と平和協議会全国大会

ミニニユース(9月2日~4日)

あなたが良き隣人として

カトリック御葬儀

貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安緒

(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23

☎ (075)312-7829